

# スポンサー2社のみ

## 冬季アジア札幌大会 資金確保が課題

2017年2月に札幌市と帯広市で開かれる冬季アジア札幌大会の組織委員会(事務局・札幌市)は2日、札幌市内のホテルで、アジア・オリンピック評議会(OCA)に対し、開催経費のさらなる削減と資金の確保が課題と報告した。

組織委は開催経費について、招致時に想定した35億円が69億4千万円に膨らんだが、日程短縮や輸送費削減により6億円を圧縮した

と報告。負担は現時点では札幌市と帯広市、道で計41億9千万円、スポーツ振興くじ助成金11億円、協賛金と寄付金10億5千万円を見込んでいる。協賛金は、既にスポンサー契約を結んだのは道内の2社(イー・シー・プロ、北海道新聞社)にとどまっており、他の企業と折衝中と報告。大会の運営水準を保ちつつ、さらなる経費削減に努めるとした。これに対しOCAの魏紀

中・終身名誉副会長は「OCAとして経費削減を全面的に支援していく」と述べた。

組織委はこのほか、札幌市南区川沿の「アパホテル&リゾート」を選手村とすること、さっぽろ雪まつり会場で聖火を採火することなどを報告した。